

令和3年 市政ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 令和3年11月13日（土）10時から11時10分
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 市民15名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、小林企画財政部長、隈市民生活部長、
柏木環境経済部長、南川建設部長、森都市部長
他管理職14名
- 懇談要旨

市民：1点目は、PCR検査について、市長はどのようなお考えでしょうか。

9月議会では、県の考えと合致しないような内容だったと思います。また、市内どこで受けられるのか、費用の面ではどうなのか、市の考え方を教えていただきたい。2点目は、水戸市と東海第二原発の件で、水戸市民が我孫子市に避難してきた場合について協定を結んでいるとのことですが、お話しできる範囲で、概略を教えていただきたい。3点目は、9月議会で議員からも質問がありましたが、台風等、風が強い時には防災無線が聞き取りづらいことから、避難指示の際は、防災ラジオが適切ではないかと思えます。部長さんの回答では、調査中であると答弁されていまして、どのような調査を行っているのか、お聞きしたい。

4点目は、船橋市、八千代市では、公団住宅の空き室を住宅セーフティネットワークの対象とし、市営住宅にかわる部屋としてURと契約を結んでいるということが、現在進んでいるようです。特に民間のアパートの方は、市とセーフティネットワークを結んで契約しようとしても、年齢制限で断られるケースがあるようで、高齢者には厳しいようですが、公団については、年齢制限はないようです。市営住宅に入居できない方などについて、市のお考えをお聞きしたいと思えます。

市民生活部長：水戸市との協定のお話ですが、協定は締結されておりますが、水戸市さんから、詳細な部分を見直したいとお話がありましたので、協議をしております。防災ラジオの調査についてですが、各自治会長さんにアンケート調査をさせていただいております。ラジオは、電波で情報を流しますので、天候などにより、聞き取りづらい場合があります。市としては、情報を伝えることが重要ですので、以前も市長が言われたように、フリーダイヤルの電話を利用していただければと思います。内容は、防災無線と同じ内容が流れます。ま

た、ジェイコム防災サービスもごさいます。有線ですので、電波状況に左右されません。防災無線が聞きづらい場合は、こういったものをご利用いただければと思います。市としましては、皆様が情報を取得しやすいよう、研究は行ってまいります。付け加えさせていただきますと、避難時の行動につきましては、共助の力が必要です。ご近所の方のご協力が必要になってきますので、そういった事も皆様に広く伝えていきたいと思っております。

市長：水戸の東海原発の事故があった場合の対応として、水戸市長として水戸市民の安全を確保したいという気持ちは、十分理解をしております。

東日本大震災の際も、福島と協定を結んでおりませんでした。我孫子を含め、この東葛の各市は避難してきた方々を当然受け入れました。同じように水戸の方々が、困って避難してきた場合、協定を結んでいなくても受け入れます。困っている人を支える気持ちです。東海原発は被害が予想されるということで、水戸市から東葛の各市に協力要請がありました。当然、東葛以外の市や水戸市周辺の市にも協力要請をされております。私としては、水戸市民が困っている、水戸市民に限らず困っている人がいる。そういった場合は、手を差し伸べ、助けるべきであると思っております。ですから、協定を結んでいなくても協力はしていきたいということ、ご理解いただきたいと思っております。

防災無線につきましては、いろんな手法を組み合わせながら、情報を発信していきたいと思っておりますが、皆様には情報を取りに行く努力もしていただきたいと思っております。近隣センターが避難所になっておりますが、そこでスマートフォンなどで情報を取得したいということで、多くのアクセスがあります。そういったことから、Wi-Fiが設置されていない近隣センター等については、12月の補正を行い、年明け早々に設置工事を進めていく予定でおります。学校についても、体育館が避難所になっております。ギガスクールによって、各学校で通信できるようになっておりますが、体育館の中ではどうするのか、検討しております。PCR検査につきましては、我孫子市で13万人がいつでも、どこでも検査を受けられるようにすると、医療機関の検査体制を圧迫する結果になると考えています。PCR検査以外の検査も出てくる中では早く終わらせることが大事です。そういった中で、我孫子市では、例えば、保育園、幼稚園、学校で一人の子供が陽性になり、濃厚接触者が出た、家庭でもそうですが、まずは、接触者として判断して、市独自でPCR検査を行っています。これは、医師会にも協力してもらって、翌日に検査をして翌々日に結果を出すようにしております。保健所に頼むよりは早いという状況です。これが出来ているのは、必要以上に医療機関にしわ寄せを行っていないからです。不安だから検査を行うのではなくて、必要に応じて検査を行うことで、非常に

早く結果が出ます。検査機関について今では、ほぼ何処の病院でも検査体制が整ってきました。費用については、健康診断と同じで、疑わしい状況ではないけれど、不安だから検査を受けると、検査費用は自己負担で、その場合の費用は2万円から3万円になります。疑わしい場合は、保険適用になります。その場合は、2,000円前後になります。保健所が指定してきた濃厚接触者は、国の負担となります。それ以外での我孫子市が認定した場合は、市の負担で無料となります。公団の件ですが、我孫子市でもUR（公団）ですが、将来的には公団を借り上げて、市営住宅にするという可能性はあります。ただ、今のところURとの話では、URから使用しても良いという話はきておりません。方向性は示されていない状況です。また、市内の市営住宅につきましては、まだ増築する必要はない状況です。ただ、状況が変われば、民間のアパートや公団を一棟借りをするなどし、そして、借りる方の人数が減ってきた場合は、お返しすれば良いという状況も考えられます。これについては、UR（公団）との一棟借りは、将来的には可能性としてはあるのではないかと考えております。

市 民：湖北地区公民館の裏の砂利の駐車場の曲がり角の道路が、陥没している部分があるので、安全の為、修繕していただきたい。

建設部長：後ほど、詳しい場所を教えていただければと思います。

市 民：それから、もう一点ですが。日秀団地の共益費ですが、1棟24部屋中、空き室が8部屋に対し、7月の募集では1室しか入居がなかった。また、4月から共益費が1,000円上がり、4,000円となりました。家賃を下げることはできませんでしょうか。また、この棟は、高齢者が多く、共益費の集金に廻るのが大変ですので、家賃と同じように引き落としをしていただきたい。

都市部長：担当職員がきておりますので、担当者からお話をさせていただきます。

建築住宅課長補佐：前回、そのようなお話がありましたが、市で、共益費を集金するものではありませんので、家賃と同じように引き落としをすることはできません。皆様でお話をしてもらって、銀行にて引き落としをしていただきたいと思います。ご理解ください。

都市部長：再度、私共の方で、検討させていただきます。

市 長：実際、市に入る家賃と建物の修繕等で使用する共益費については、支払

いは別ですので、引き落としをご希望であれば、皆様でお話をしていた
き、別口座をつくって、銀行に引き落としの手続きをしていただきた
いと思います。担当課ともう一度協議を行ないますので、お時間を
いただきたいと思います。

市 民：終末処理場の見学にいきました。10年近く蓋の設置運動を行
っていて、ようやく1列目は蓋がかかり、2列目も今工事を行って
います。1スパンが8,000万円で3ヶ月で蓋の工事が終わるよう
ですが、臭いの問題ですので、6市から7市の50万人の汚水が流
れてきて、蓋を付けずに野ざらし状態でありました。なぜ、当時
、蓋を閉めなかったのか。蓋をつけた上を広場で使うとか、そ
ういう話も立ち消えになってます。布佐の方たちのためにも、2
列目だけでなく、3列目も蓋をしていただくよう、市長さん、よ
ろしく願います。

建設部長：覆蓋につきましては、今、2列目を実施しているという
ことです。2列目の残り2カ所について工事の方が進められて
います。もう一つについても、年明けに発注されると聞いてお
ります。引き続き3列目につきましても、千葉県は、現在の設
置状況をみてと言っておりましたが、市としては引き続き、お
話をしていきたいと思えます。

市 民：ワクチン接種について、市の対応をお伺いしたい。予約
の電話をしたがなかなか繋がらなかった。もっと、受付の電話
を増やしてほしいと伝えました。このようなことでは、3回目
の接種でも起こりえるので、どうかしていただきたい。

市 長：ワクチン接種につきましては、全国で予約を行っており
、各市で電話回線の取り合いになっていました。我孫子市では
、何とか電話回線を増設し、対応人数も増やし、また応援体
制として、職員7名を保健センターに異動させ、お電話とネ
ットでの併用で予約を受け付けました。

しかし、我孫子市内で約4万人の高齢者が、お電話をされま
すと、対応は出来ません。今回の件で65歳以上の方が電話に
固執し、ネットにて予約が出来ないことが十分わかりました。
また、こういったこと以外に繋がらなかった理由としては、電
話が繋がるとご質問等が多く、平均して20分ぐらい通話を
されていたようで、長い方では1時間話された方もいたと聞
いております。予約の際は、早めに電話を切って頂くよう、次
の方へのご配慮をお願いいたします。また、パソコンやスマ
ートフォンですとスムーズに予約が出来ております。操

作が出来ない方は、ご近所でパソコンが出来る方、お友達や自治会の方々をお願いしていただければと思います。また、3回目の接種も来年の2月か3月あたりになると予想されます。団体等の皆様には、また市からご協力をお願いいたします。予約される方々も、ぜひご協力いただきたいと思います。何卒、よろしく願いいたします。

市 民：中峠ですが、新しい家などが建ってきましたが、新しい家は道路よりも高く建てられます。アパート等もそうです。最近は集中豪雨が多いので、そういった家の雨水は、低い方に集まってくるので、水が集中して集まります。どうか雨水管と合わせて下水道管の整備を早く進めてほしいと思います。

建設部長：下水道管と雨水管とは分かれております。雨水ですと、どうしても高いところから低い方に流れるものですので、低い方から迎えにいかないと流れません。市では、床上浸水がある場所など優先して工事を行っておりまして、費用と長い年月がかかるものですから、中峠地区においては、計画がなかなか進まないのが、現状です。では、いつごろ工事が出来るのかというのもこの場ではお答え出来かねます。ご理解いただきたいと思います。下水道管につきましては、国道356号沿いの湖北地区を整備しております。ご質問されました方のお住いがわかりませんので、後ほど、お聞きしまして下水道計画を担当の方からお話させていただきたいと思います。

市 長：大変申し訳ございません。湖北駅北口の方も順次、下水道整備を行っておりますが、中里地区がまだ終わっておりません。湖北駅周辺までとなっております。湖北駅周辺から本管をいれて、各地区へ管をのばしていくこととなります。汚水と雨水の管が分かれておりますので、両方を進めていく上では、お時間がかかってしまいます。その点をご理解いただきたいと思います。

なお、下水道料金につきましては、下水道管は費用がかかりますので、先ほどご説明をいたしました、12月の議会に料金の引き上げをお諮りすることになっております。現行の使用料水準から22%引き上げが必要となりますが、いきなり引き上げではなく、段階的にということで、現段階では17%の引き上げを考えておりまして、月々一人から二人の世帯では100円弱、4人世帯では640円弱の値上がりとなります。値上げを行わないと、一般会計から2億8千万円繰り入れなければならなくなります。そうしますと、他の事業のお金を削らなくてはならなくなります。そこで、大変申し訳ないのですが、下水道を利用している方々に、少し負担をしていただき、現行の事業が継続できるようにしていきたいと考えております。このまま値上げを行わないでい

きますと、一般会計からの繰入額は、3億円、3億円以上と膨らんでいきます。そうなると、社会保障関係も私が就任する前は100億円程でしたが、今、130億円、140億円となってくる中で、社会保障にお金を廻せなくなることは避けたいと考えております。23年ぶりの値上げになりますが、ご理解いただきたいと思っております。また、こういった状況の中で、下水道事業を進めていることをご理解ください。今後は、ふれあい懇談会でもご意見を頂戴し、各議員からもご意見をいただいた中で、料金の上げ幅については、検討していきたいと思っております。

市民：マイナンバーカードについてですが、先日、行政サービスセンターに行きましたら、それはパソコンで登録してくださいと言われてました。パソコンでの登録か、それとも窓口に行った方が良いのか、どちらが早く登録できるのか教えていただきたい。もう一点は、私は、独り暮らしですので緊急通報システムを活用したいのですが、どのように手続きしたらよいのでしょうか。また、以前、利根川で119番通報をいたしました。茨城の消防署につながってしまいました。これらの点について、お聞きしたいと思います。

市民生活部長：マイナンバーカードの手続きにつきましては、パソコンで申請する方法と市役所の窓口に行って、写真を撮ってもらい、手続きする方法と2つあります。カード自体は国の方で作っておりますので、混み具合によっては、かかる時間が違ってきますが、先ほど市長が言われたとおり、1ヶ月から2ヶ月程かかるそうです。いずれにしても、市役所の方に来られた方が、スムーズに進むと思っております。平日来られない方につきましては、休日での受付日もありますし、近隣センターでも受け付ける日もございますので、広報等でもお知らせしております。ご利用いただければと思っております。

企画課長補佐：高齢者宅へ設置の緊急通報システムですが、基本的には65歳以上の方で一人でお住いの方が対象、もしくは、その方と一緒に住んで介護してくれる方がいたとしても、1日12時間以上不在になる可能性がある方、または、基礎疾患で急変する可能性が高い方など、そういった方を対象にして、お配りし、ボタン一つで119番につながるシステムです。手続きにつきましては、高齢者支援課にご連絡ください。2点目の川沿いでの通報が市外や県外にかかってしまう件につきましては、お手元の電波によって、繋がる場所が変わります。違った場所の消防に繋がっても、指令センター同士で連絡を繋いで、その電話をきることはなく、回線をつなぐようになっております。もう一つご安心していただきたいのは、携帯電話で発信された場合、GPS機能で、位置が

特定できます。もし、違う場所にかかっても、その場所を特定できますので、ご安心ください。

市長：マイナンバーカードにつきましては、市役所に来ていただけると、手続きがスムーズにできます。

市民：予約をしてから言った方が良いでしょうか。

市民生活部長：コロナの状況もありますので、予約をしてから来ていただきたいと思います。

市民：予約状況は、どう確認すればよいのでしょうか。

市民生活部長：予約のお電話の時にそのことも聞いていただければと思います。

市長：携帯電話の場合は、西側では柏市につながることもあります。市境ですと110番、119番は近い方につながる場合がありますので、今どこにいるのかを伝えていただければ、対処できます。今までは、我孫子で119番通報しますと柏に繋がっておりましたが、現在は、松戸の指令センターに繋がり、広域になってきております。広域での利便性は、付近に救急車がいなくても、他で対応が出来ます。このような連携をとっていることを覚えておいていただきたいと思います。

市民：資源ゴミの奨励金が減額されると聞いたのですが、いつ頃で、いくらぐらいになるのか、教えて下さい。

市長：ゴミを削減していくという市の考え方に対し、資源ゴミを出せば出すほど、奨励金が補助されるというのは、逆行していると思われれます。ただ、奨励金も自治会の活動費に使用されていることを考えますと、廃止ではなく、奨励金の上限を決めたいと考えています。実施は令和5年度を予定して進めてまいりたいと思います。皆様も来年の自治会運営予算を検討する時期でしょうから、来年度の奨励金については、現行通りと考えてください。決定されましたら、皆様に、ご連絡をいたします。